

●この説明書は必ず施工される方にお渡し下さい。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

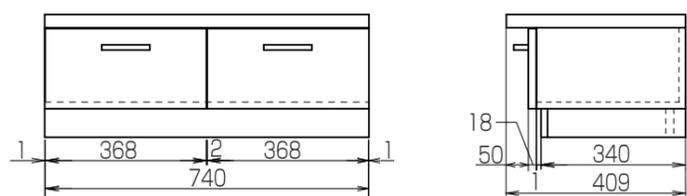
- キャビネットが転倒してけがをするおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
 - ・棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
 - ・棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。
 - ・ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。（厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。）
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×57（黒）を指定の本数使用してください。
 - ・必ず棧木の中央または厚さ18mm以上の合板に固定してください。
 - ・躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してください。
- リフォーム等の場合で棧木位置が石こうボード等で確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、柱・間柱に釘等で棧木を取付けてください。

■施工上のお願い

- 壁内(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりねじ頭がとんだりつぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみ等の原因となります。
- 発熱灯付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

■寸法図

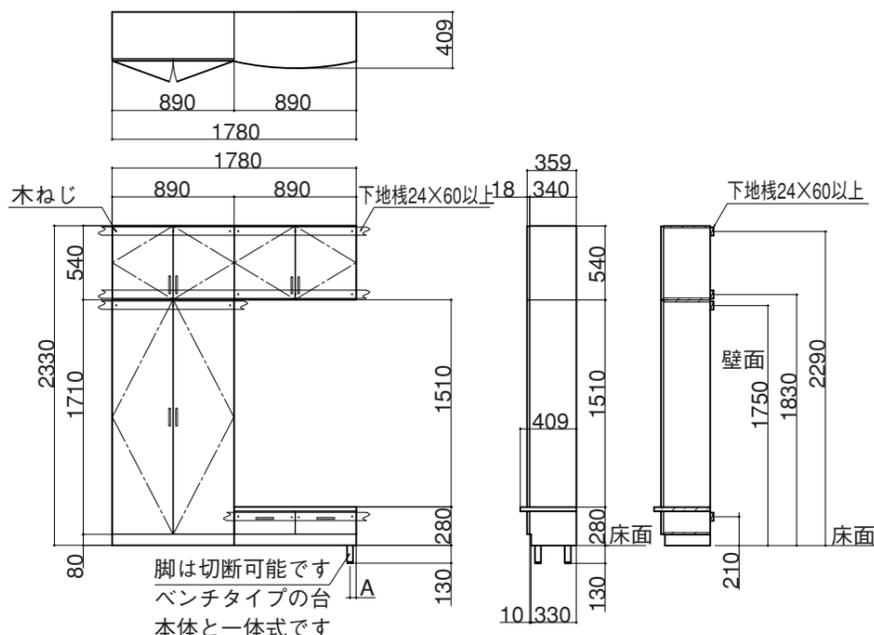
〈W740の場合〉



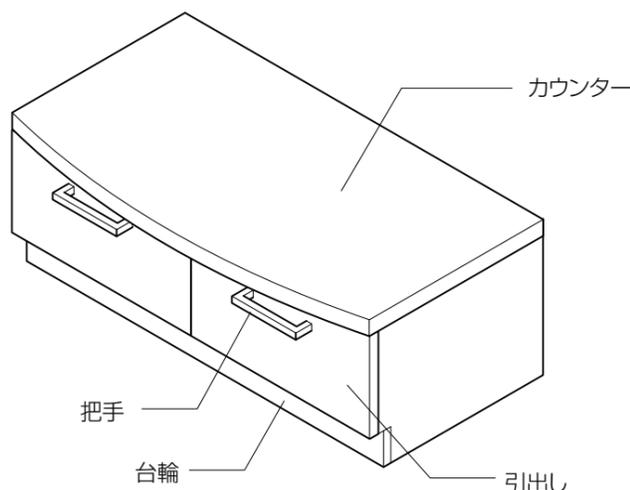
■部材部品一覧表

		名称	数量
ベンチ収納梱包	完成品	ベンチ収納 (引き出し2箱・把手2コ含)	1
	部品	キャビネット連結ねじ (φ3.5×30)	2
		躯体取付けねじ (φ3.8×57)	2

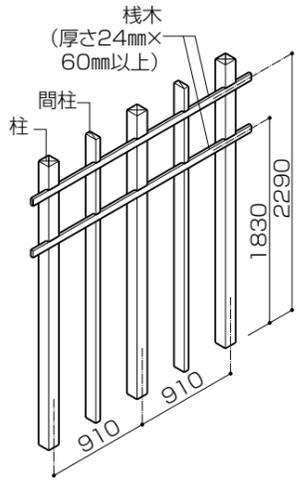
■据付け前の準備



■各部名称



2 棧木の固定



▲ 注意

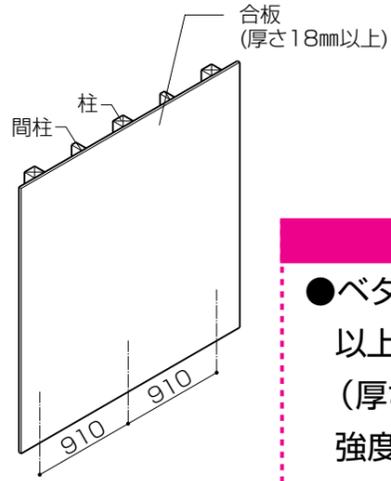
- 指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。

2 棧木の固定

- 棧木を取付けます。

▲ 注意

指定の個所にシーリング材を充てんしてください。
材木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。



▲ 注意

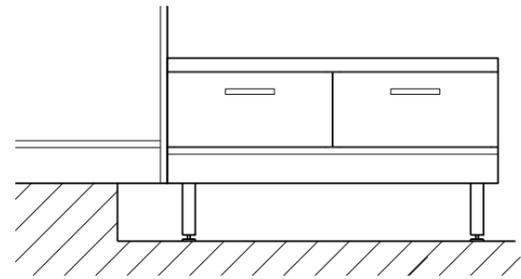
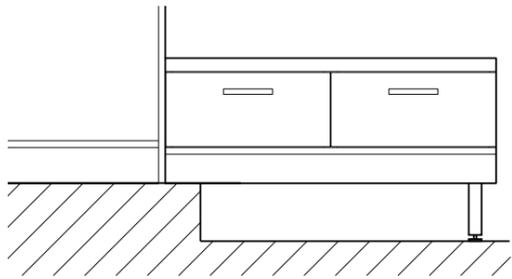
- ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)

■ 取付け手順

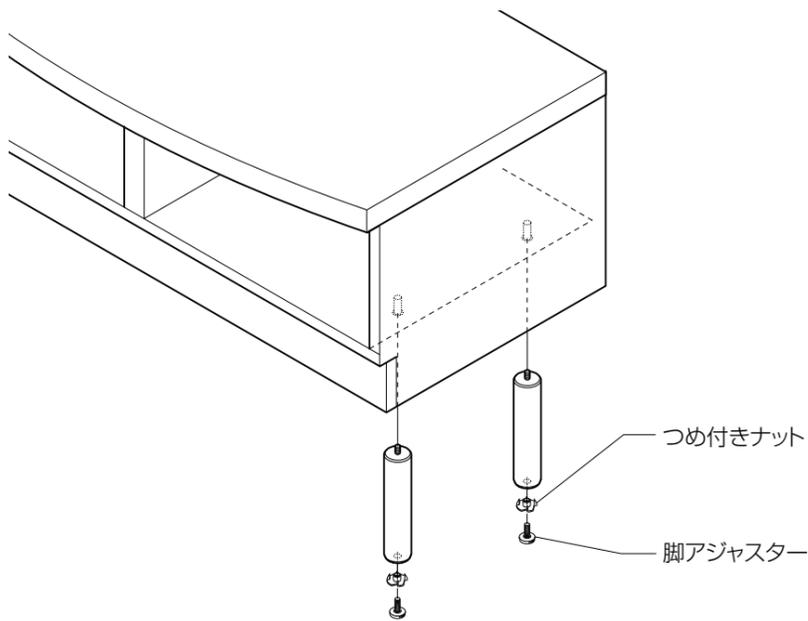
1 ベンチ収納の設置

- 据付け場所にベンチ収納を置きます。
- ※脚セットは、ベンチ収納底板に土間高さに合わせて切断後取り付けます。

※ベンチ収納が土間にかからない場合は、追加足ベンチ用（別売品）を使用し足を4本設置して下さい。



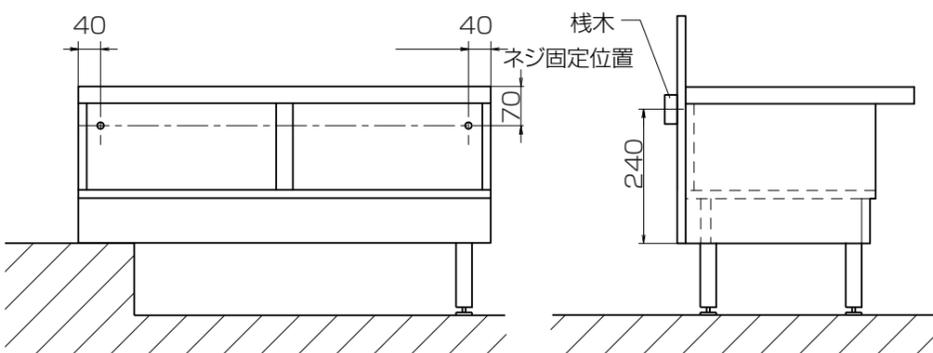
- ※脚の切断可能範囲は、最大100mmです。
- ※アジャスターの調整範囲は、100mm～25mmです。



※土間高さに合わせて脚の下端を切断した後、つめ付きナットを木づちでたたきこみます。

2 壁面への固定

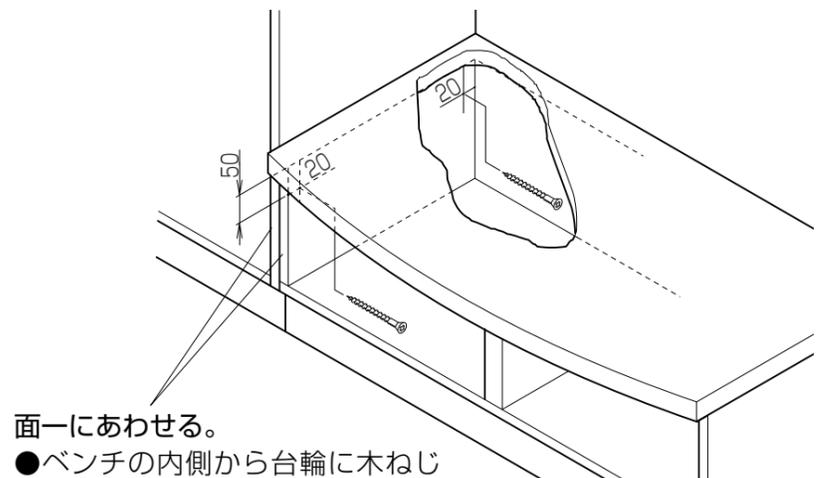
- ※水準器・下げ振り等でキャビネットの水平・垂直を調整しながら本体取付用ねじφ3.8×65で壁面（棧木）に固定して下さい。



▲ 注意

- 取付けねじは必ず壁面の棧木または、18mmの合板に固定してください。転倒のおそれがあります。

3 キャビネットへの固定



- 面一にあわせる。
- ベンチの内側から台輪に木ねじφ3.5×30（黒）で連絡します。